

**設置届の場合**

変更届出の場合は、変更のある部分について、別紙に  
**変更前**及び**変更後**の内容を対照させて記載してください

様式第2の2

該当するもの以外は二重線で消してください

揮発性有機化合物排出施設設置 (~~使用、変更~~) 届出書

提出日を記載してください

該当する環境管理事務所名又は市名を  
記載してください  
(管轄はパンフレットを参照してください)

平成18年4月20日

(宛先)  
埼玉県〇〇環境管理事務所長

氏名又は名称、住所を記載してください  
(※法人の場合は、本社の名称、住所、代表者の氏名)

代表者印(丸印)を  
押印してください  
※社印(角印)は任意

届出者

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1  
(株)〇〇印刷  
代表取締役 埼玉太郎  
(電話番号 048-824-2111)

該当するもの以外は二重線で消してください

大気汚染防止法第17条の5第1項 (~~第17条の6第1項、第17条の7第1項~~)の規定により、揮発性有機化合物排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	(株)〇〇印刷 〇〇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市△△1-1	施設の項番号(大気汚染防止法施行令別表第1の2参照)及び種類を記載してください (※パンフレット参照)	
揮発性有機化合物排出施設の種類	7項 グラビアの用に 供する乾燥施設	例 1項 化学製品製造の用に供する乾燥施設 2項 塗装施設 3項 塗装の用に供する乾燥施設	
揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法	別紙1のとおり。	※施設番号	
揮発性有機化合物の処理の方法	別紙2のとおり。	※審査結果	
		※備考	

- 備考
- 揮発性有機化合物排出施設の種類欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2に掲げる項番号及び名称を記載すること。
  - ※印の欄には、記載しないこと。
  - 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
  - 氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあつてはその代表者)が署名することができる。
  - 排出ガスを処理施設において処理していない場合には、別紙2の届出は必要ない。

同じ項番号の施設の場合、同時に複数の施設を届け出ることができます

設置届出 → 着手予定年月日、使用開始予定年月日  
 使用届出 → 設置年月日  
 変更届出 → 設置年月日、着手予定年月日、使用開始年月日をそれぞれ記載してください

揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法

工場又は事業場における施設番号		001	002
名称及び型式		グラビア印刷機1号 GR-01	グラビア印刷機2号 GR-02
設置年月日		年月日	年月日
着手予定年月日		平成18年 7月 1日	平成18年 7月 1日
使用開始予定年月日		平成18年 8月 10日	平成18年 8月 10日
規模	送風機の送風能力 (m <sup>3</sup> /h)	100,000	100,000
	排風機の排風能力 (m <sup>3</sup> /h)		—
	揮発性有機化合物が空気に接する面の面積 (m <sup>2</sup> )	—	—
	容量 (kl)	—	—
1日の使用時間及び月使用日数等		9時～ 18時 9時間/回 1回/日 20日/月	9時～ 18時 9時間/回 1回/日 20日/月
排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)		45,000	45,000
使用する主な揮発性有機化合物の種類		トルエン 酢酸エチル	トルエン
揮発性有機化合物濃度 (容量比 ppm (炭素換算))		50	50
参考事項		・1号、2号印刷機の排風機は共用	

大気汚染防止法施行令別表第1の2の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載してください

・湿りガスであって、最大のものを記載してください  
 ・貯蔵タンクの場合は記載しないでください

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 揮発性有機化合物排出施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。
- 4 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。
- 5 揮発性有機化合物排出施設が貯蔵タンクである場合には、排出ガス量の欄には記載しないこと。
- 6 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 7 揮発性有機化合物濃度は、揮発性有機化合物の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 8 参考事項の欄には、揮発性有機化合物の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、揮発性有機化合物の排出の抑制のために採っている方法（排出ガスを処理施設において処理しているものを除く。）等を記載すること。

※排出ガスを処理施設において処理していない場合には、別紙2の届出は必要ありません

別紙 2

揮発性有機化合物の処理の方法

揮発性有機化合物の処理施設の工場又は事業場における施設番号		01		設置届出 →着手予定年月日、 使用開始予定年月日 使用届出 →設置年月日 変更届出 →設置年月日、 着手予定年月日、 使用開始年月日 をそれぞれ記載してください	
処理に係る揮発性有機化合物排出施設の工場又は事業場における施設番号		001、002			
揮発性有機化合物の処理施設の種類、名称及び型式		蓄熱式燃焼分解処理施設 1号 A01			
設置年月日		年 月 日		年 月 日	
着手予定年月日		平成18年7月 1日		年 月 日	
使用開始予定年月日		平成18年8月10日		年 月 日	
処理能力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)		100,000		・湿りガスであって、 最大のものを記載 してください ・貯蔵タンクの場合は 記載しないでください
	揮発性有機化合物濃度 (容量比ppm (炭素換算))	処理前	100,000		
		処理後	50		湿りガス中の濃度を 記載してください
	処理効率 (%)		99.9		

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
  - 2 排出ガス量は、湿りガスであって、最大のものを記載すること。
  - 3 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
  - 4 揮発性有機化合物の処理施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。